

やまぐち 市議会だより

3 6
9月
定例会 12

NO.69

定例会特集	2
議案の審議結果	5
委員会 ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
議会からのお知らせ	14



育てよう
未来を担う若者たち

2023年
9/4～10/4

上程された議案

予算

5件

条例

3件

事件議決

9件

決算認定

14件

諮問

6件

請願

1件

6月30日から7月1日にかけての大雨対応

～浸水被害対策はどうなっているのか！！～



浸水被害の様子（小郡上郷八方原）

令和5年9月定例会では、本年6月30日から7月1日にかけての豪雨による浸水被害に関連した質問が多くの議員からありました。今回の豪雨では、平成21年7月に発生した中国・九州北部豪雨と同程度の24時間で288ミリの降水量を記録し、床上浸水209戸、床下浸水482戸など、大内、平川、大歳、小郡地域を中心に市内全域で多くの浸水被害が発生しました。

安全 安心を 支え・守る

雨水管理総合計画の策定に向けて

これまで、重点8地区（吉敷赤田地区、大歳朝田地区、大内下千坊地区、吉敷上東地区、大内問田地区、湯田地区、大歳天原地区、小郡下郷地区）を選定し、雨水ポンプ施設の新設や増設、雨水幹線の整備を進めてきました。あわせて、総合浸水対策事業により雨水貯留施設をはじめ、取水ゲートの電動化やポンプ施設、雨水排水路の整備など、それぞれの地域の特性に応じた対策を進めてきましたが、さらに効率的に対策を進めるため、浸水被害のリスクを評価し、優先度の高い地域を中心とした対策の推進を目的とする、「雨水管理総合計画」を令和8年度中に策定し、令和9年度から対策を進めていきます。今年度は基礎調査業務として、降雨の記録、河川の水位、地形並びに施設などのデータを収集し、地域ごとの課題を整理します。「雨水管理総合計画」に基づく事業の実施までには時間を要することから、それまでの間は、仮設ポンプの増強など、直ちに着手可能な対策を行い浸水被害の軽減に向けた取組を進めていきます。

今回の大雨災害に係る予算対応



指摘・要望

災害救助法に基づく学用品の支援は、国の制度で支給対象品目の上限額が定められており、また、現物支給を原則とされていることから支給に日数を要した事例が見られた。今後は迅速に対応されるとともに、対象者や支給品目の範囲の拡充を図るなど、さらに被災者に寄り添った対策を求める。

災害復旧関係（応急復旧含む）

【二四六、六六六千円】

- ・市営住宅維持管理事業
- ・ごみ処理関係
- ・防疫作業関係
- ・生活支援関係
- ・災害見舞金支給事業

生活支援関係

【一〇、九四八千円】

- ⑦事務費
- ⑥被災家屋障害物撤去事業
- ⑤学用品等給付事業
- ④災害弔慰金支給事業
- ③災害援護資金貸付事業
- ②災害ボランティアセンター運営事業
- ①避難所設置運営費

【専決処分の内容】 被災者救済対策関係 【二〇、三〇〇千円】

被災者の救済や、道路・河川の応急復旧など、早急な対応が必要な経費について、地方自治法の規定に基づく補正予算の専決処分が行われ、9月定例会において、「議案第21号令和5年度山口市一般会計補正予算（第4号）」に関する専決処分について」を承認しました。

議案第6号

山口市犯罪被害者等支援条例を可決

犯罪被害者等への支援を総合的に推進することにより、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とするものです。

「山口市犯罪被害者等見舞金支給制度」の概要【趣旨】

犯罪被害によって生じる被害者や家族・遺族の経済的な負担の軽減を図るため、人の生命または身体を害する故意による犯罪行為の被害者等を対象に、被害の状況に応じ見舞金を支給するもの。

【見舞金の種類、金額】

遺族見舞金(30万円)

重傷病見舞金(10万円)

性犯罪被害見舞金(10万円、5万円)

【支給対象者】

犯罪被害が発生したときに本市の市民であった者

【施行日】

令和5年10月4日

※施行日以降に発生した犯罪行為による被害に適用



性犯罪被害は国の犯罪被害給付制度では対象とされていないが、心身に与える影響の大きさを考慮し、性犯罪被害見舞金を設けた。

パートナーシップ宣誓制度

市議会では、市が示している「パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱（素案）」に係る議会の意見を取りまとめ、市長に意見書を提出しました。

市では、当事者等からの要望を受け、性的マイノリティのカップルに対し、法律婚にしか認められていない手続やサービスなどの適用範囲を拡大できる本制度の導入を検討しています。

今後は、先行して導入している自治体を参考に、11月にパブリックコメントを実施し、市人権施策推進審議会での審議を経て、来年4月の施行を目指しています。



子ども・子育て支援

問 学校給食について、子どもたちの意見を集め、反映されているのか。現場の状況は？

答 児童生徒との日々の会話やアンケートなど様々な方法で声を聞き、給食に反映している。

問 有機野菜を中心とした食材の使用や、給食費の無償化の考えは？

答 有機野菜の活用はモデル校での実証事業に取り組んでいる。無償化は多額な財源の恒久的な確保が課題で、現時点では難しい。

問 給食費については地域差を解消し、統一すべきでは？

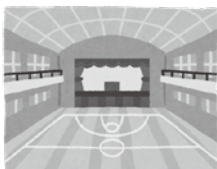
答 給食費は各地域での食材費を基に算出している。統一は今後検討する。

問 母子健康手帳の「別名併記」で、家族全体で子育てに参加する環境をつくることや、性的マイノリティの方々も安心して子育てできるまちの周知につながるのではないかな？

答 次年度交付分から取り入れることができるよう検討したい。

問 こども医療費の高校卒業までの無料化の考えは？

答 子育て世代にさらに選ばれるまちを目指し、令和6年度以降の実行計画策定や来年度の予算編成に向けた検討を進める。



問 脱炭素の取組の中で、学校施設の断熱化の研究をすべきでは？

答 長寿命化改良工事の中で計画的に進めたい。

問 猛暑が当たり前の中、学校体育館にエアコンを設置すべきでは？

答 6月から夏休みまではプールの授業が主であり、避難所使用はスポットクーラーで対応している。経費面の課題もあり、今後研究したい。



令和4年度
決算!!

議会で厳しく
チェックしました。



チェックしました。

決算額の詳しい内容は、市報「やまぐち11月1日号」をご覧ください。



市公式ウェブサイト

令和4年度決算について、9月14日に追加議案が上程され、予算決算委員会で説明が行われました。その後、それぞれの常任委員会で詳細に審査を行った結果、全会一致で認定しました。

昨年の指摘事項は

反映されたのか!

議会では毎年、決算について指摘事項を提示し、次の年度に反映されるよう取り組んでいます。この度は、令和3年度決算の指摘事項が令和4年度に反映されているか確認しました。

指摘…新たなデジタル技術の活用や一層のサービス向上のために研究を。

取組…各種行政手続のオンライン化や、様々な行政サービスのデジタル技術の活用に取り組んだ。

指摘…予算が使われないとわかった際、安易に減額補正するのではなく、事業目的達成のための予算執行を。取組…年度内の早い時期に予算の状況を把握し、必要なところに柔軟に対応できるよう努めた。

指摘…費用対効果がわかりづらい事業があるため、AIなどを活用して集約したデータや論拠に基づく政策立案を。

取組…事業効果の検証や立案根拠となるデータの収集や分析を行い、事業の有効性・効率性などの観点から政策立案に努めた。また、AIを活用し、まちづくりアンケートの結果をビッグデータとして利用した。

指摘…専門人材の確保を。

取組…各種分野で人材確保に向けた情報発信、職業体験の取組への支援、研修や資格取得支援など育成に努めた。

指摘…「成果報告書」の中で、事業の意図や成果の達成状況がわかりづらいものについて、記載内容に工夫を。

取組…指標の見直しや補足説明を追記するなどわかりやすい資料作成に努めた。

指摘…上下水道事業の運営については計画的、安定的に事業を進められているため、引き続き着実な事業運営を。

取組…令和4年度においても経営戦略に基づき着実な事業運営ができた。



令和4年度決算に対する意見・指摘

デジタル化の取組でより効率的に!

- デジタル技術を活用した各種取組により、市民サービスの向上が図られた点は評価する。新本庁舎整備を契機として、一層のDXを図り市民サービスの向上、業務の効率化、職員の働き方や意識の改革につなげていただきたい。

山口市まちづくりアンケートを分析!

- 山口市まちづくりアンケートは、各施策における満足度、重要度等を調査するものであるが、アンケート結果で期待する数値が得られてない指標については、その要因を的確に分析した上で、効果的な展開をされるよう求める。

水道、下水道事業の持続可能な経営を!

- 安定した事業経営に努められ、各種施設の更新等について計画的に進められている。物価高騰をはじめ、社会情勢はめまぐるしく変化していくことが見込まれるため、今後も持続可能な経営に取り組まれることを求める。

目標値の設定に明確な根拠を!

- 指標や目標値の設定について、その考え方や根拠を明確にした上で、丁寧な説明を求める。国等が実施する各種調査結果のデータが入手できないことにより実績値が測定できないものについては、代替指標設定の検討を求める。

事業の成果を的確に評価できるよう成果指標の見直しを!

- 市が進めるまちづくりが、どのように進められているのか確認する主要な施策の成果報告書については、各事業の取組実績や事業効果を正確に評価できるよう、活動指標及び成果指標の見直しを求める。また、国の指標等に基づいて目標値を設定した事業で既に目標を達成したものについては、本市独自の高い目標値を設定した上で推進するよう求める。
- 主要な施策の成果報告書について、過年度と比較して事業費や指標の実績が大幅に増減している事業については、成果の妥当性や有効性を判断できるよう事業の実施内容を適切に記載し、指標の精度向上を図るよう求める。

議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和5年度山口市一般会計補正予算(第5号)
- 令和5年度山口市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 令和5年度山口市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和5年度山口市地域下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和5年度山口市公共下水道事業会計補正予算(第1号)

条 例

- 山口市犯罪被害者等支援条例
3ページに関連記事あり
- 山口市火災予防条例の一部を改正する条例

事 件 議 決

- 重源の郷体験交流公園施設リニューアル整備工事の請負契約の締結について
- 山口県央消防指令センターシステム構築業務の委託契約の締結について
- 鑄銭司第二団地用地の売払いについて
- 山口市立小中学校教育用コンピュータ等の取得について
- 山口市立小中学校校務用コンピュータ等の取得について
- 令和5年度山口市一般会計補正予算(第4号)に関する専決処分について
2ページに関連記事あり

決 算 認 定

- 4ページに関連記事あり
- 令和4年度山口市水道事業会計決算の認定について
- 令和4年度山口市簡易水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和4年度山口市公共下水道事業会計決算の認定について
- 令和4年度山口市農業集落排水事業会計利益の処分及び決算の認定について

- 令和4年度山口市漁業集落排水事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和4年度山口市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度山口市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度山口市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度山口市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度山口市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度山口市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度山口市国民宿舎特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度山口市特別林野特別会計歳入歳出決算の認定について

諮 問

- 人権擁護委員の候補者の推薦について(敬称略)
- | | |
|-----------|-----------|
| 原田 茂樹(再任) | 和西 孝恵(再任) |
| 上野 千恵(再任) | 松長 直道(再任) |
| 三戸 純(再任) | 松井 豊彦(新任) |

人権擁護委員

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱されたボランティアの人たちです(任期は3年)。市長が適任者を選任して推薦するにあたり議会の意見を聞くこととされており、このたび全会一致で「異議なし」としました。人権擁護委員の詳しい紹介は、市公式ウェブサイトをご覧ください。



賛否が分かれた議案と審議結果 (○は賛成、×は反対)

議 案		審議結果	未来志行山口	県都創生山口	公明党	市民クラブ	高志会	日本共産党	徳孤会	地域政党やまぐちの風	最燃焼	英知会	継続力の会	南部の風	山口蒼志会
条例	湯田温泉パーク設置及び管理条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
事件議決	(仮称)湯田温泉パーク新築工事の請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	(仮称)湯田温泉パーク新築機械設備工事の請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	(仮称)湯田温泉パーク新築電気設備工事の請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
請願	インボイス制度の廃止を求める意見書を政府に送付することを求める請願	不採択	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×

山口市議会では、「総務」「教育民生」「生活環境」「農林建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ホームページに掲載しています。



救急車の現場到着時間の短縮に向けた取組

様々な要因から救急需要が増加している状況の解決策として、中央消防署に第3救急隊を配備し体制強化を行うとともに、ドクターカーによる一刻も早い医療の提供、管轄署所に関わらず現場に近い救急車を優先的に出場させる直近救急に取り組んでいる。また、新たに大内出張所から山口インターチェンジを経由し、湯田温泉スマートインターチェンジまでの高速道路を活用した出場方法の検討など、現場到着時間の短縮及び救命率の向上に向けた取組を実施している。

(担当部局：消防本部)

委員の意見

・取組を評価しつつ、更なる運用等に努めてもらいたい。



「投票支援カード」を導入し投票をサポートします！

新たな取組として、高齢者や障がいのある方をはじめ、投票所において何らかの支援を希望される方のために、次に行われる選挙から「投票支援カード」を導入する。

今後、投票支援カードの配布方法や周知方法等について検討し、投票しやすい環境を整えたい。

(担当部局：選挙管理委員会事務局)



投票支援カード

総務
委員会

総務
委員会



中心商店街施設の老朽化への対応

本市中心商店街のアーケードは設置後約40年を経過しており、老朽化対策が課題であると認識している。こうした中、一部で雨漏りが散見される状況もあり、これまで小規模な修繕に対する支援を行ってきたが、多額の費用を要する大規模な改修については国等の有効な補助制度がないため取り組めていない。

今後、そうした補助制度の創設を要望していくとともに、商店街組合ともアーケードの更新や長寿命化に向けた改修等に取り組んでいただくよう協議していきたい。

(担当部局：商工振興部)

委員の意見

・老朽化しているアーケード施設の改修にできるだけ早期に対応していただきたい。



猫の適正飼養に関するリーフレットを作成

飼い猫の不適正な飼養や野良猫の繁殖、ふん尿被害など深刻化する様々な課題に対応するため、平成28年3月に猫の適正飼養等ガイドラインを策定している。

猫に関する知識やガイドラインの内容をより多くの方へ周知するため、気軽に手に取り読んでもらえるよう3種類のリーフレットを作成した。

今後、市公式ウェブサイトに掲載等、周知について検討していく。

(担当部局：環境部)



委員の意見

・リーフレットをしっかりと活用し、適正飼養等について周知に努めてもらいたい。

生活環境
委員会

生活環境
委員会



待機児童ゼロの深化に向けて

教育民生
委員会

令和5年4月1日時点の保育施設の待機児童数はゼロ、放課後児童クラブの待機児童数は215人となっている。放課後児童クラブに関しては、夏休み期間が終わると待機児童数が減る傾向にあり、夏休みに一定のニーズがあると考えている。夏休み期間のみ利用できる臨時学級の開設に向け、積極的に取り組んでいきたい。あわせて、民間事業者の活用について、参入時の補助制度を今年度中に整備し、運営基準や方針等について、今後整理していく。

(担当部局…こども未来部)

委員の意見

【保育施設】

定員数の拡大のための取組を高く評価する。一方で、希望した園に入れていない場合や、複数の児童を別々の園に預けている世帯が存在する実態もある。質の伴った待機児童ゼロに向けて善処を求める。

【放課後児童クラブ】

夏休み期間の取組をはじめ、令和6年度以降の待機児童数の減少に向けてしっかりと取り組んでいただきたい。民間事業者の活用にあたっては、施設や保育の質に偏りが生じないような配慮も必要になるのではないかと。



介護分野におけるDX推進で利便性の向上と業務負担の軽減を！

教育民生
委員会

介護保険の資格や給付管理を行うシステムは、国の標準化の対象となっており、令和7年度を目途に対応していく。今後の取組として、認定調査員の事務負担の軽減のため、調査票作成支援システムの導入、審査会のペーパーレス化、また、本庁舎整備に合わせて、認定申請の電子化等を検討していく。

(担当部局…健康福祉部)

委員の意見

・先進事例等を参考に、積極的に進められたい。



持続可能な食料システムの構築に向けて啓発事業実施

農林建設
委員会

国においては、持続可能な食料システムの構築に向け、「みどりの食料システム戦略」を策定された。本市ではこれに伴い、化学肥料の低減や有機農業など、環境負荷を低減した農業や消費についての理解促進に向けた啓発事業として「オーガニック&ナチュラルライフガーデンフェア」を開催する。持続可能な農業に向けて、生産や流通、消費について考え、生産者及び消費者の交流につなげるよう、今後も事業等を展開していきたい。

(担当部局…農林水産部)



シェアサイクル利用拡大

農林建設
委員会

本市では、移動手段の充実や鉄道や路線バスなどの基幹交通と目的地をつなぐ二次交通としてシェアサイクルの実証事業を行っている。令和4年度の実績は増加しており、サイクルポートの数や自転車の台数を増やし更なる利用促進を図っている。

利用者数や自転車の利用率が拡大した理由としては、テレビやラジオ、市報による周知が利用につながったことや、シェアサイクルが利用者の生活の中に浸透し、くり返し利用される方が増加したことが考えられる。今後もシェアサイクルのPRを行い利用促進を図るとともに、引き続き市民の移動手段の一つとして、シェアサイクルが定着するよう努めていきたい。

(担当部局…都市整備部)

委員の意見

・令和4年度の実績は、令和3年度の実績の倍以上の数値であり、評価する。今後の展開を期待する。



市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市

★議員が何を質問したか読んでみましょう! ★一般質問の制限時間は質問と答弁を合わせて50分です。
★質問と答弁の映像は各議員の二次元コードから見るができます。
※必要な場合には二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。※情報の受信にかかる通信料は利用者負担となります。

都市 人口減少対策を反映したまちづくりに向けて!

要である
と考える
いる。



問 第二次山口市総合計画後期基本計画における人口減少対策に資する今後のまちづくりについて伺う。

答 「農山村エリアの転出超過の抑制」「若者の大都市圏への転出超過の抑制」「子育て世代からさらに選ばれるまちづくり」の3つを重要な視点として捉えている。特に、子育て世代からさらに選ばれるまちづくりについては、子育て家庭の経済的負担の軽減に向け、こども医療費無料化の高校生までの拡大や第2子以降の保育の無償化、一歳児健診の公費負担などについて、後期基本計画期間内の実現に向けて鋭意検討を深めていく。また、3つの視点に基づく取組に加えて、あらゆる施策分野の取組を総合的に進めることも、人口減少対策において重要であると考えている。

未来志行山口
大來 尚順

おおき なおゆき

防災 災害対策について!

一つとして、内水ハザードマップを作成し、内水氾濫の危険性や想定される箇所について広く市民へ周知を図る。



問 本年6月30日から7月1日にかけて、線状降水帯が発生し、急激な雨と長時間の降水となり、各地で被害が発生した。山口市総合浸水対策計画による整備の効果と問題点を伺う。また、今後の防災・減災対策の取組を伺う。

答 雨水貯留施設等を8基、雨水幹線を3地域、雨水排水ポンプ施設を2地域で整備し、農業用取水ゲートを14か所改良した。また、大雨時、浸水が想定される地域へ仮設ポンプを設置し強制排水を行ってきた。以前に比べて浸水被害が軽減され、一定の効果はみられた。令和8年度には雨水管理総合計画を策定し、総合計画のソフト対策の一つとして、内水ハザードマップを作成し、内水氾濫の危険性や想定される箇所について広く市民へ周知を図る。

県都創生山口
瀧川 勉

たきがわ つとむ

福祉 障がい者スポーツイベントを誘致しよう!

談しながら判断していく。



問 過去の議会において、KDDI維新ホールを会場とした大規模障がい者スポーツイベントの誘致について、「山口市をボッチャの聖地」との提案もさせていただいたが、その後の検討状況はいかがか。

答 スポーツコンベンションが開催されることは本市にとっても様々な経済効果が生じると考える。今後、実施の可能性について、しっかりと関係機関を含め検討していく。

問 山口市スポーツ推進計画の基本目標に大規模スポーツ大会等の誘致とあるが、障がい者スポーツも入っている認識か。

答 明確な線引きは難しいが、軽スポーツのボッチャについても、どのような規模で実施するかを含め、主催者と相談しながら判断していく。

公明党
村上 満典

むらかみ みつのり

協働 若者の声、市政にどう反映?!

○人材確保について

●その他の質問

先般、市内大学で県有地利活用をテーマにプレゼン大会が開催され、若者の生の意見を聴いた。若者が住み続けたいと思うまちづくりのための施策展開を伺う。

答 20代前半の転出超過が続く本市において、総合計画後期基本計画では、若者の遊び場や交流の充実に向けた取組推進、学生、若者の地元就職促進やU・I・ターン者の起業創業、就職支援等に取り組むこととしている。産学金官が連携したやまぐち地域共創プラットフォームの協議の場や山口大学の学生がアンバサダーとなる市の観光PRの場を通じて学生や若者の意見を伺い政策や事業に反映していきたい。



ふるさと共創山口
植野 伸一
うえの しんいち

行政 もめない相続、安心相続に官民で取り組もう!

超高齢化・多死社会を前に相続関連で様々な課題が浮き彫りになっている。終活に関する課題や相続は多岐に渡っており、官民が連携したフルサポートの体制づくりが必要と考えるがいかがか。

答 市民の皆様が終活に関心を持っていただくことが必要であると考えている。関心を持つきっかけづくりの一つとして終活ノートが考えられ、関係団体と連携し、普及啓発を推進していきたい。本人が存命中の終活においても、死亡後の遺族にとっても、できるだけ簡単に分かりやすいよう体制を構築する必要があると認識しており、官民連携の在り方について、先進事例等を参考に研究を進めてまいりたい。



市民クラブ
野村 雄太郎
のむら ゆうたろう

福祉 手話を使用しやすい環境の構築について

○雇用創出の環境づくり

●その他の質問

山口市議会では、令和3年12月に「山口市みんなの手話言語条例」を制定した。条例にある市の責務の一環として、市長定例記者会見における手話通訳者の配置について伺う。

答 令和5年10月の市長定例記者会見から記者会見の様子を撮影した動画に、後から手話と字幕を挿入する手法を取り入れ、市公式ウェブサイト等を通じて配信を行うこととしており、現在、人員体制の確保やスケジュール調整等のための作業を進めている。また、今年度、市長定例記者会見時の手話通訳者の配置を実証的に取り組む機会を設け、新年度から導入する方向で取り組んでいく。



高志会
伊藤 育
いとう ひとし

子ども 地元有機野菜を使用した「学校給食無償化」を!

世界の主流は生態系を生かした持続可能な農業の「アグロエコロジー」である。有機農業での農産物の生産拡大が重要であり、関係組織との連携や支援が必要と考えるがいかがか。

答 有機農業の市内農産物の普及、生産拡大等に対して財政支援、連携、支援の在り方を検討したい。

問 地元生産の有機野菜を含む食材を使用し、地産地消の安全安心な学校給食を確保する中で無償化を考えるがいかがか。

答 有機野菜活用はモデル校で実証事業に取り組んでおり、学校給食の地産地消率は74.2%である。学校給食無償化には、約7億円の市財政の負担が必要で、現時点では難しいが、国の動向を注視し、他市の実施状況も研究したい。

アグロエコロジー

農業のアグリカルチャーと生態学のエコロジーを合せた造語。肥料や農薬に依存せず、科学的な知識と農業者の叡智を組み合わせた農業改革を目指す取組。

日本共産党
大田 たける
おおた たける

戸籍に読み仮名を記載する法改正への対応は？

- その他の質問
- PTA活動のデジタル化
- 自治会活動のデジタル化



問 戸籍に読み仮名・振り仮名の記載を必須とする戸籍法改正に対応するための財源やマンパワーの確保について伺う。

答 財源については、国において必要な財源措置が講じられると認識している。また、マンパワーの確保については、想定される事務を滞りなく実施できるよう、必要な人員・体制を確保するとともに、届出が困難な高齢者や障がい者などへの対応にも配慮しながら準備を進める。当該事務は、氏名への振り仮名を取扱う重要な事務であり、個人情報への厳守を徹底するとともに、間違いなく、かつ滞りなく適正に事務が遂行できるように取り組む。

市民クラブ
山見 敏雄

やまみ としお

災害の危険が少ないところへの居住誘導を

- その他の質問
- 市職員の人材確保と育成



問 浸水被害対策については、現在の防災・減災対策が重要であることはもちろんであるが、災害の危険が少ない安心して住める居住エリアを確保する必要がある。それには、20年以上の長期的視点で災害リスクを考慮したまちづくりに向けた構想が必要と考えるが、市の所見を伺う。

答 農山村エリアにおける居住誘導のゾーニングをはじめとする基本的方向性を定める際には、災害リスクの高い区域は居住誘導の対象から除外することも検討する必要がある。総合浸水対策計画などは20～30年先を見据えた長期の計画であり、総合計画の基本計画や毎年度予算編成等を連動させ、短期から長期的な視点で効果的に進める。

徳孤会
山本 浩二

やまもと こうじ

ちょうちんまつり自衛隊による迷彩服と武器携行



ちょうちんまつりでの自衛隊のパレード

問 8月6日の山口七夕ちょうちんまつりでの自衛隊のパレードでは迷彩服に小銃とバズーカ砲を携えての行進で戦争を想起させる異様な雰囲気であった。また、市長が来賓として歓迎を表されたことは違和感がある。広島への原爆投下の日でもあり、平和を願う市民の気持ちを逆なでしている。先祖への鎮魂の思いつから始まったまつりにふさわしくなく、度を越している。自衛隊や主催者に申し入れるべきと考えるが所見を伺う。

答 迷彩服・武器携行ということを認識せずに出席した。まつりにふさわしいかどうか、実行委員会できちんと議論していただくよう伝える。

日本共産党
尾上 頼子

おのうえ よりこ

等しく、楽しく、おいしく、腹いっぱい給食を

- その他の質問
- 食育の推進について
- 水害対策について



問 平成17年の合併時から市内各地域で給食費単価が違つ。地域格差が生じていることについての所見を伺う。

答 給食費は各地域の調理場における食材費を基に安定的な給食運営を図るよう算定された価格である。

問 利用料金を等しく負担していた中で安定した給食を提供するため、来年も給食費を統一するべきでは。

答 昨今の物価高騰の状況も注視しながら、新たな保護者負担が生じないように公的支援も行っている。国においては給食費の無償化について議論もされており、こうしたものを総合的に判断しながら給食費の統一について検討してまいりたい。

高志会
有田 敦

ありた あつし

子育て こども家庭センターの開設で子育ての充実!!

問 こども家庭センターを保健センター内に設置することで市内全域の子育て支援ネットワークが円滑になると捉えているが、現在の整備状況と完成後のイメージ、また相談支援体制の強化・充実に向け取り組んでいる事業を含め、現状と今後の展望を伺う。

答 子ども家庭総合拠点としてオープンを予定している。本市が培ってきた子育て支援の強みを生かし、関係部局や地域の子育て支援機関等が包括的なネットワークでつながり、妊産婦や子ども、子育て家庭等の困りごとやニーズをキャッチする中で、こども家庭センターが中心となつてコーディネートを行い、適切なサービスや支援につなげる仕組みづくりを構築していく。



未来志行山口
鳥養 祐矢

とりかい ゆうや

防災 防災・危機管理の取組について!内水氾濫対応!

問 公共下水道での浸水対策について、小郡下郷地区以外で内水氾濫が発生した現状から区域等の見直しをどのように考えているか。また、雨水管理総合計画策定まで3年以上を要すが、その間どのように対応されるのか。あわせて対応には部局間の連携が必要と考えるが所見を伺う。

答 雨水管理総合計画を策定する中で区域見直しの検討を進めるとともに、計画に基づく事業実施までは浸水被害のあった地域での仮設ポンプの増強等の対応も含め、関係部局と連携し浸水被害の軽減に向けた取組を迅速に進める。また、長通り雨水幹線整備と並行し、水門管理の一元化や農業用水路の活用も含め関係部局と連携して浸水被害の軽減につなげる対策についてスピード感を持って検討を深める。



公明党
栗林 正

くりばやし ただし

防災 豪雨災害からの早期復旧と再発防止策の徹底を!

問 本年発生した豪雨災害からの復旧状況と再発防止策について伺う。

答 国の財政支援対象となる被災箇所内の年度内復旧を図るとともに、市の単独事業となる被災箇所の復旧に取り組んでいる。また、再発防止に向け、市が管理する河川等への効果的な浸水対策に取り組むとともに、ポンプ車導入等の緊急対策を検討していく。

問 自助を共助と公助とで支える止水板等設置助成事業の創設を提案する。

答 浸水被害を防ぐ新たな取組として、止水板及び建物の塀等の設置に対する助成事業創設に向け、制度の対象となる地域、建物、補助額等、具体的な制度設計に取り組んでいく。

●その他
○公共交通の充実について



山口市
総合浸水対策計画

未来志行山口
梶山 俊哉

すぎやま としや

都市 みんなが一緒に遊べる河原谷公園に!



河原谷公園

問 本市南部にある河原谷公園に、インクルーシブプレイグラウンドを設置し、多くの方々に来ていただける公園整備について、担当部局のお考えを伺う。

答 公園整備においては、社会的ニーズからもインクルーシブの理念を取り入れる必要性を強く認識している。インクルーシブ遊具やユニバーサルデザインの休憩施設等を兼ね備え、誰もが訪れる、誰もが一緒に遊べるインクルーシブプレイグラウンドとしての整備を視野に入れ、市民の皆様の意見を伺い、来年度中にはブランドデザインを取りまとめたい。

公明党
山本 敏昭

やまもと としあき

防災 災害対応にDX導入を！

除く運賃の半額を補助している。



問 防災危機管理のDX化について、市の所見を伺う。

答 山口線利用促進協議会（本市・島根県内3自治体）では、本年8月8日から市町の学校等の高校生までの生徒児童が5名以上で参加する活動で山口線を利用する際、事前に申請をすれば、特急料金を

問 JR山口線の活性化に向けた運賃助成について

答 学校や子ども会、スポーツクラブ等が行う試合や遠足等に伴うJR山口線の運賃助成事業について伺う。

交通 JR山口線の活性化に向けた運賃助成について

問 学校や子ども会、スポーツクラブ等が行う試合や遠足等に伴うJR山口線の運賃助成事業について伺う。

答 山口線利用促進協議会（本市・島根県内3自治体）では、本年8月8日から市町の学校等の高校生までの生徒児童が5名以上で参加する活動で山口線を利用する際、事前に申請をすれば、特急料金を

問 防災危機管理のDX化について、市の所見を伺う。

答 現状、災害対策本部と各出先との主要な情報伝達手段はFAXを使用しているが、情報共有や災害応急対策においては迅速性が必要なことから、新たに山口市総合防災情報システムを構築し、来年4月から運用を開始する予定。

未来志行山口
馬越 帝介

まごし たいすけ

人権 質す！DV被害者が増加傾向の中での条例制定

○誰一人取り残さない福祉行政

○寄る添う教育行政

●その他の質問



問 議案第6号山口市犯罪被害者等支援条例の第2条第1号「犯罪等」は、心身に影響を及ぼす行為を含むのか。また、同条第2号「犯罪被害者等」には、実際にDV被害に遭ったが警察に被害届を出されていない方や裁判所に保護命令の申立てをされていない方も含むのか。さらに、住民票の異動を伴わず避難された方も支援の対象となるのか。

答 本条例では、犯罪被害者等基本法に倣い、犯罪等には刑罰の対象になる犯罪に類似する行為も含める。また、被害届等をされていない場合も犯罪等により害を被った者に該当する。さらに、基本台帳への登録の有無に関わらず支援の対象とする。

問 議案第6号山口市犯罪被害者等支援条例の第2条第1号「犯罪等」は、心身に影響を及ぼす行為を含むのか。また、同条第2号「犯罪被害者等」には、実際にDV被害に遭ったが警察に被害届を出されていない方や裁判所に保護命令の申立てをされていない方も含むのか。さらに、住民票の異動を伴わず避難された方も支援の対象となるのか。

答 本条例では、犯罪被害者等基本法に倣い、犯罪等には刑罰の対象になる犯罪に類似する行為も含める。また、被害届等をされていない場合も犯罪等により害を被った者に該当する。さらに、基本台帳への登録の有無に関わらず支援の対象とする。

未来志行山口
坂井 芳浩

さかい よしひろ

定住 奨学金返還支援導入により20代の流出を防ぐ！

着を促進する効果的な手法を引き続き、研究していく。



内閣官房・内閣府総合サイト「奨学金」を活用した大学生等の地方定着の促進

問 本市は学生が卒業する20〜24歳の人口流出が最も多いという課題がある。また、近年2人に1人の学生が奨学金を利用し、奨学金の返還が結婚や出産の人生設計に大きく影響している社会課題もある。総務省は、奨学金を活用した若者の地方定着促進に係る特別交付税措置を実施しており、既に他の自治体が奨学金返還支援に取り組んでいる。本市も学都山口の特徴を生かし、奨学金返還支援を導入してはどうか。

答 本市独自の返還支援制度の導入には、まず、今年度創設した新卒者雇用促進助成金制度の効果を検証し、これから国において進められる高等教育費の負担軽減策の行方等を注視しつつ、学生の定着を促進する効果的な手法を引き続き、研究していく。

問 本市は学生が卒業する20〜24歳の人口流出が最も多いという課題がある。また、近年2人に1人の学生が奨学金を利用し、奨学金の返還が結婚や出産の人生設計に大きく影響している社会課題もある。総務省は、奨学金を活用した若者の地方定着促進に係る特別交付税措置を実施しており、既に他の自治体が奨学金返還支援に取り組んでいる。本市も学都山口の特徴を生かし、奨学金返還支援を導入してはどうか。

答 本市独自の返還支援制度の導入には、まず、今年度創設した新卒者雇用促進助成金制度の効果を検証し、これから国において進められる高等教育費の負担軽減策の行方等を注視しつつ、学生の定着を促進する効果的な手法を引き続き、研究していく。

最燃焼
安河内 淳朗

やすこうち あつろう

防災 榎野川水系の流域治水の取組

策の強化に努める。



問 流域治水とは、流域全体を対象に、流出の抑制、氾濫流のコントロール、土地利用規制など、建造物などのハード面だけではなく、ソフト面での対策も充実させる新しい考え方の治水対策だが、令和3年度に榎野川水系の流域治水プロジェクトが作成、公表されている中、市としてどのような取組が行われているか。

答 本プロジェクトは、県が令和4年2月に策定された、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策、被害対象を減少させるための対策、被害の軽減、早期復旧・復興のための3つの対策により流域における浸水被害の軽減を図ることを目的としている。本市もプロジェクトに参画し、多くの関係部局においてハード及びソフト対策を行っている。今後とも県と連携の上、防災対策の強化に努める。

問 流域治水とは、流域全体を対象に、流出の抑制、氾濫流のコントロール、土地利用規制など、建造物などのハード面だけではなく、ソフト面での対策も充実させる新しい考え方の治水対策だが、令和3年度に榎野川水系の流域治水プロジェクトが作成、公表されている中、市としてどのような取組が行われているか。

答 本プロジェクトは、県が令和4年2月に策定された、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策、被害対象を減少させるための対策、被害の軽減、早期復旧・復興のための3つの対策により流域における浸水被害の軽減を図ることを目的としている。本市もプロジェクトに参画し、多くの関係部局においてハード及びソフト対策を行っている。今後とも県と連携の上、防災対策の強化に努める。

高志会
伊藤 青波

いとう しょうは

施設

(仮称)湯田温泉パークは指定管理者が重要！



(仮称) 湯田温泉パークの
鳥瞰図

問 地元湯田地域から、定期的なイベント等での施設利用に対する期待と心配の声があり、指定管理者が非常に重要になってくると認識している。まつりなどの定期的なイベント等で地元と連携することについて、どのように指定管理者に求めるのか伺う。

答 企画運営パートナーなど多くの関係者と一体となり事業展開を円滑に図れることが指定管理者に求める重要な要素である。定期的なイベント等においては、湯田地区コミュニティ運営協議会などの地域団体に企画運営パートナーとして参画してもらう中で、地域と施設が連携した取組もできるものと考えている。



公明党
其原 義信



農業

自然災害時における農家への支援



大雨で冠水する圃場
(名田島地域)

問 自然災害により被害を受けた小規模農家の方へ速やかに支援できる市独自の支援体制が必要と考えるが市の所見を伺う。

答 被害発生時における一定の基準を設けることは、農家の方に安心感を与え、営農意欲の向上につながる方策の一つであると認識している。一方で、風水害や冷害、病虫害による自然災害は種類によって規模や状況が異なり、一定の基準を決めて支援するよりも、被害の状況を見極め緊急的かつ柔軟な支援策としての対応がより効果的であると考える。その都度、農家の方に寄り添った、きめ細やかな対応をしっかりと行っていく。



県都創生山口
野島 義正



福祉

誰もが尊厳を持って生きる社会の実現を！

学習機会の充実、保存団体等への支援に積極的に取り組む。



山口市手話言語条例の
パンフレット

問 山口市みんなの手話言語条例施行後の取組と、今後の展望について伺う。

答 手話への理解促進と普及手話による情報取得の推進と意思疎通支援、手話通訳者の確保及び養成に積極的に取り組んできた。引き続き、総合的かつ計画的に推進し、手話への理解促進や支援人材の裾野の拡大を図っていく。

文化 地域の文化財をつないでいくために

問 市内の無形文化財、無形民俗文化財の現状に鑑み、今後の支援策について伺う。

答 文化財の価値や魅力を多くのの人に知ってもらい、保存団体等が資金的にも安定して活動できるよう、歴史文化資源の価値の共有を図る情報発信や、学校教育における学習機会の充実、保存団体等への支援に積極的に取り組む。



未来志行山口
米本 太郎



教育

公立学校における児童生徒の平日休暇への取組

成果や課題の状況を注視し、研究していきたい。



問 愛知県と大分県別府市では、児童生徒が家族と一緒に休みを過ごせるように、年に最大3日、欠席扱いにならずに学校を休むことができる制度を本年9月から開始された。現在、働き方改革が目ざれており、その一環として休み方の改革も必要と考える。土日の休みが取れない保護者も多い本市でも、同様または独自の休暇制度を導入できないか市の所見を伺う。

答 多様な働き方を選択できる現在、大人の休暇の取り方の変化に伴い、家族である児童生徒の休暇の在り方にも影響が出てくることは理解している。本制度は、成果が期待できる一方で懸念される課題もあることから、今後、平日休暇の取組を導入している自治体の成果や課題の状況を注視し、研究していきたい。



県都創生山口
倉増 賢治

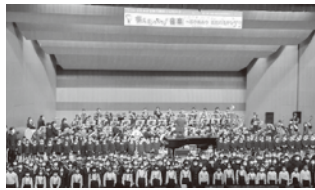


文化 市民会館は文化振興の活性化のための活動拠点！

●その他の質問
○山口県農業試験場跡地における浸水対策について

問 中学校部活動の地域移行を契機とした地域文化振興の活性化に伴う活動拠点として、市民会館の役割をどのように認識しているのか。

答 市民会館を、生徒の文化芸術活動の育成支援に生かしていく活動の場の一つとして検討することも大切な視点であると認識している。同時に、この視点をあらゆる世代の多様な文化芸術活動の育成支援に生かすことが、山口市文化創造ビジョンに掲げる、あらゆる人々による文化芸術活動の推進につながっていくものと考えている。



市民会館大ホールでの児童・生徒の演奏風景



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎
たけなか いちろう



地域 誰もがあたりまえに暮らせる地域共生社会へ!!

問 地域共生社会の実現に向けた地域との理念共有、地域包括支援の在り方、福祉専門職の地域配置について伺う。

答 地域との理念共有について、地域づくり計画の改定時を有効な機会と考え、地域と市職員が理念に対する理解を深め、共有し様々な地域づくりの反映できるよう取り組む。

地域包括支援の在り方について、各地域では、多様な地域団体の話し合いの下、高齢者が互いに支え合う仕組みづくりを進めている。この取組を属性や世代に関わらず地域住民で支え合う仕組みとして、全地域に展開できるように取り組む。

福祉専門職の地域配置について、一律配置は困難なため、例えば総合支所を拠点に福祉専門職を集約し、地域へも積極的にアウトリーチできる体制とするなど工夫が必要になる。



地域共生社会のポータルサイト



山口蒼志会
中野 光昭
なかの てるあき



議会からのお知らせ



先進地に学ぶ 視察報告

くわしくは二次元コードからご覧ください。

7/31 農林建設委員会



山口県における農林業について

●山口県農林総合技術センター

令和5年4月に農業試験場、農業大学校、林業指導センターを統合され「農林業の知と技の拠点」となった山口県農林総合技術センターを視察しました。



山口県における農林業の担い手の減少や高齢化、産地競争の激化、急速に進化する先端技術への対応といった課題を解決するために整備された施設について、確認することができました。

建築物における長寿命化について

●防府市

公共建築物における長寿命化の取組である免震構造の耐久性や技術について、視察を行いました。



7/11~13 議会運営委員会



●三重県四日市市

議会のデジタル化に係る取組と、決算審査と予算審査を連動させる政策サイクルの取組について行政視察を行いました。

●神奈川県川崎市

議会のデジタル化に係る取組と大規模地震や火災等を想定した市議会避難訓練の取組について行政視察を行いました。

●岡山県倉敷市

オンライン委員会の取組と常任委員会単位での市民意見交換会の取組について行政視察を行いました。

各議会の事例を今後の議会改革の取組に生かしていきます。

ようこそ議場へ

7月14日 白石小学校
6年生が議場を見学



社会科授業の一環の議場見学。定例会の流れや議員の仕事など、議会に関する説明を聞いたあと、議員に直接質問をするコーナーも！子どもたちの『するどい』質問に、いつもは質問をする立場の議員も真剣に答弁しました。



議員に質問！

- ・市議会で議決されたことは、どのくらいたって実行するのですか。
- ・市議会で今、一番力を入れていることは何ですか。
- ・どうして議員になったのですか。きっかけを教えてください。

子どもたちの感想

- ・市議会をより身近に感じられました。
- ・地域の人たちのご意見を聞いて、真剣に考えて実行するというのがすごいなと思いました。
- ・市議会でタブレットを使ってペーパーレス化することに力をいれているということがわかりました。



山本 貴広議員の御逝去を悼みます



山本貴広議員が去る九月一日に御逝去されました。

氏は、平成二十六年に市議会議員に初当選以来、三期九年余りにわたり大いに市勢発展のため御尽力されました。

また、災害ボランティアや、保護司として、積極的に更生保護の諸活動に従事されるなど、安全安心な地域づくりのための活動を続けてこられました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、御生前の御功労と御人徳をしのび、心から御冥福をお祈り申し上げます。

山口市議会

(主な略歴)

- ・総務委員会副委員長
平成二十八年五月十九日から
平成三十年四月三十日
- ・総務委員会委員長
平成三十年五月十四日から
令和二年五月十七日
- ・議会改革検討協議会会長
令和二年七月三日から
令和四年四月三十日
- ・教育民生委員会委員長
令和四年五月十七日から
令和五年九月一日

議会の主な動き



7月

- 5日 全国市議会議長会 第161回地方財政委員会
- 10日 会派代表者会議
市議会だより等編集委員会(以下「編集委員会」)
- 11日 議会運営委員会行政視察(～13日)
全国市議会議長会基地協議会 第106回理事会
- 19日 全国市議会議長会基地協議会 中国・四国部会定期総会(～20日)
- 20日 編集委員会
- 27日 全国伝統工芸品振興市議会協議会 令和5年度定期総会
- 31日 農林建設委員会行政視察

8月

- 4日 山口県市議会議員研修会
- 28日 議会運営委員会、会派代表者会議、執行部説明会

9月

- 4日 会派代表者会議、議会運営委員会、**第3回定例会**初日(～10月4日最終日)
- 5日 議会運営委員会
- 13日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 14日 議会運営委員会

10月

- 2日 広報広聴委員会
- 3日 山口県市議会議長会臨時総会
- 4日 議会運営委員会

おいでませ山口へ(行政視察の受け入れ)

全国各地から行政視察にお越しいただきました。

☑受け入れ団体(7月～9月)8団体

- 7月 5日 埼玉県戸田市議会
静岡県浜松市議会
11日 埼玉県熊谷市議会
愛知県豊田市議会
21日 京都府議会
8月17日 山梨県甲州市議会
21日 山口県周南市議会
23日 岐阜県瑞浪市議会

行政視察を通じ、本市の取組や魅力をPRしていきます。

【会派等の異動がありました(9月13日付け)】

会派等結成/英知会 宮川 英之議員 継続力の会 植野 伸一議員
南部の風 富田 正朗議員 山口蒼志会 中野 光昭議員

編集後記

コロナ制限解除後の景気回復への支援策を含む、第二次山口市総合計画後期基本計画(5年間)の初年度にあたり、「アレはどうする!山口市?」という疑問に「コレを読んだら、まるわかり!」を実感していただける編集を心がけました。(植野)

9月議会は、令和4年度決算審査を中心に議論が展開されました。昨年度の指摘が今年度に生かされます。(有田)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…11/15(水)まで 請願の受付…11/22(水)まで

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1	2
	本会議 (初日) 10:00～					
3	4	5	6	7	8	9
	本会議 10:00～ (一般質問・質疑)	10:00～17:00 ケーブルで生中継		本会議終了後 予算決算 委員会		
10	11	12	13	14	15	16
	教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	総務 委員会 農林建設 委員会 10:00～		予算決算 委員会 10:00～		
17	18	19	20	21	22	23
	本会議 (最終日) 10:00～					

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- 山口市議会ホームページ
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>



- インターネット録画中継
<https://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住 所: 〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電 話: 083-934-2854 / FAX: 083-934-2658
メール: gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先: 山口市議会事務局「議会の感想」宛て

【表紙写真】

中高生を対象とした職業体験イベント「やまぐち未来のしごとフェスタ」の様子です。地元企業の魅力を知り、職業観の育成、将来の地元就職にもつながる取組です。

市議会だより等編集委員会

委員長 大田たける 副委員長 野村雄太郎
委 員 大來尚順・鳥養祐矢・米本太郎・倉増賢治
野島義正・栗林 正・有田 敦・山本浩二
安河内淳朗・植野伸一

次号は2月1日です